



学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和6年6月28日(金) No. 3

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

E-mail : tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp URL : <https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp>

学校の魅力が一番知っているのは私たちだ！

6月5日(水) 令和6年度本校公開研究会を実施しました。今年も来校型とオンデマンド型のハイブリッド形式で行いましたが、昨年よりも多い180名の方が来校し、生き生きと活動する児童生徒の姿や教員の教育活動に対する熱い思いを伝えることができました。保護者の皆様には、行事協力委員会の皆さんを中心に、前日の清掃協力から当日の駐車場誘導、受付対応や来校者の案内等、多大なご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、本年度の重点努力目標の一つとして「豊かな心と健やかな体の育成」を掲げ、感じたことや思い巡らしたことを周りの人達に自分なりの方法で表現する意欲を育てることを目指しています。公開研究会、及び6月11日に行われた学校見学会では、青葉山コーポレーション(通称:ABC)の役員生徒や高等部の生徒が、ABCの活動や高等部の生活について来校者に発表しました。公開研究会の事後アンケートでは、ABC活動の教育課程上の位置づけや実際の指導支援の方法について、質問があり、来校者からの関心の高さが見受けられました。児童生徒が一生懸命話す姿や言葉は、本校で学ぶ楽しさを、教員が伝えるよりも強くアピールできました。

また、高等部学校見学会では、高等部就業体験について、高等部生徒が説明しました。一生懸命説明し「来年、一緒に勉強することを楽しみにしています」と明るく呼び掛ける高等部生徒の言葉は、頼もしい先輩の言葉として、見学会に参加していた中学生の心に響いたと思います。



公開研究会での発表の様子

三十八人寄れば文殊の知恵

青葉山コーポレーションが、本格的に今年度の活動を始動しました。第2回ABCタイムの時間では、11月に県内特別支援学校文化祭の一環で行われる県庁販売会で、どんな製品を販売すると学校の魅力を発信でき、多くの人に購入してもらえるか、中学部と高等部の生徒、38名が6班に分かれて話し合いました。自分がふだん製作にかかわっている製品のよさを伝え合いながら、学部や作業班の垣根を越えてセット販売する組み合わせを、高等部生徒が中心になって班の意見をまとめました。今後、それぞれの班から出された案をABC役員でまとめ、県庁販売会に向けて各作業班に製作を依頼していきます。



おしらせ

小学部あおば学級担任の神山貴子先生が、6月末をもってご退職となりました。本校では、全学部支援員から中学部担当支援員、高等部担任、小学部担任と全ての学部で児童生徒のために、ご尽力いただきました。心から感謝いたします。



(文責 菅原 しのぶ)